

選ばれる法人・選ばれる事業所を目指します



第 38 号

発行：社会福祉法人 虹の会



いたくじぎょう
委託事業
じゅたく
受託

ごあいさつ

り じ ち ょ う た む ら き よ み
理事長 田村きよ美



こうよう おり そら たか くも み きせつ ひごろ
紅葉の折、空が高く雲がすっきりと見えるすがすがしい季節となりました。日頃

みなさまがた ほうじん じぎょううんえい たい り かい きょうりょく いただ ころ かんしゃもう あ
は、皆様方より法人の事業運営に対するご理解ご協力を頂いていることに心より感謝申し上げます。

さて、令和6年度からの事業となります、新しい取り組みについて報告させていただきます。現在、市内には
たかしまし ち い き ほう かつ し え ん た ん とう ち い き し ん あ さ ひ あ ど が わ く つ き た か し ま し や く し ょ
高島市地域包括支援センター(担当地域：新旭、安曇川、朽木、高島、)が市役所に、あいりんつむぎ地
ほう かつ し え ん た ん とう ち い き い ま づ ほ く ぶ ら い ね ん ど な ん ぶ あ ど が わ た か し ま ち い き み ん
域包括支援センター(担当地域：今津、マキノ)が北部にあります。来年度からは、南部の安曇川・高島地域を民
かん いたく して じぎょう おこな ころ ぼ いりょう かい ご ふくし れんけい あたら かつ ち い き ほう かつ し え ん
間に委託して事業を行うことになり公募がありました。医療・介護・福祉の連携で新しい形の地域包括支援
センターを運営していく方向で、医療法人かおり会、社会福祉法人光養会、社会福祉法人虹の会の3法人が
きょうどう ころ ぼ が た おうぼ けつか たかしまし ほうかつてきしえん じぎょうとうぎょうむ いたく あどがわ たかしまちい
協働で公募型プロポーザルに応募した結果、「高島市包括的支援事業等業務委託(安曇川・高島地域)」を
ほうじんきょうどう た あ とくていひ え いりかつどうほうじん えぬびーおーほうじん ち い き ほう かつ けんきゅうかい じゅたく
3法人協働で立ち上げた、特定非営利活動法人(NPO法人)「たかしま地域包括ケア研究会」が受託するこ
とになりました。そして、そのNPO法人を3法人が連携してサポートしていくという仕組みで、令和6年4月から
じぎょう かいし
事業を開始することになります。

しよくいん えぬびーおーほうじん こよう また ほうじん ざいせきしゅつこう かつち ほうじん
職員については、NPO法人で雇用、又は3法人からの在籍出向という形になります。バックアップ法人とし
ての役割を果たしながら、虹の会として高齢分野の専門性の知識及び経験の向上につなげていき、「児童から
こうれいしや かつがた たいしやう ぜん せ だいがた ていきやう ほうこうせい すず
高齢者の方々を対象に全世代型サービスの提供」の方向性へ進めていきます。

に じ かいりょうしや みなさま しえん ていねい とく ち い き し や かい ふくし じゅうじつ こうけん
虹の会利用者の皆様への支援を丁寧に取り組みとともに、地域社会における福祉の充実に貢献するという社
かいふくし ほうじん やくわり は かんが
会福祉法人としての役割も果たしてまいりたいと考えています。

ち い き ほう かつ し え ん 地域包括支援センターとは？



ち い き ほう かつ し え ん こうれいしや かつ かい ご ふくし けんこう いりょう
地域包括支援センターは、高齢者の方の介護、福祉、健康、医療など
さ ま ざ ま な 相 談 の 窓 口 で す 。 主 任 ケ ア マ ネ ジ ャ ー 、 保 健 師 (地 域 看 護 に 経 験 の あ る 看 護 師) 、
し や かい ふ く し し ち ゅ う し ん そ う ご う て き し え ん お こ な な や お う て き せ つ
社会福祉士などが中心となって総合的に支援を行います。悩みに応じて適切なサービスや
せい ど り り ょ う し ょ う かい かんけい かん れん けい そ う だ ん し え ん て い き や う
制度の利用の紹介や関係機関との連携によりスムーズな相談支援を提供します。

(参考) 高島市役所ホームページより

ぎょうじ 行事
さいかい 再開

新型コロナウイルスも5類となり、規制や制限が緩和されました。
各地で行事やイベントが再開し、以前のように賑わいを取り戻しつつあります。虹の会でも、今年度より各事業所の行事やイベントをコロナ前のように戻しながら実施しております。日帰り旅行は市外へへ行けるようになり、9月には新旭ふくしまつりを開催し、地域とのつながりも増えてきています。



「ようこそ大地へ」は、今年度で7回目を迎えました。ご利用者・ご家族、地域の方々と共に大切に育てられてきたイベントです。コロナ禍でしばらく中止となり、地域の関係者との繋がりも途絶えてしまったところもあり、手探りの状態からのスタートでした。一つひとつパズルのピースをもう一度探し出し埋めながら、地域のボランティアの方々とも関係性の再構築を図り、準備を進めることとなりました。

久しぶりの開催で以前のようにお客様が来て頂けるか心配もしましたが、当日は秋らしい天候にもなり、多くの世代の方々に来場頂くことができ、賑わいのある一日となりました。準備した各コーナーでは、ご利用者もそれぞれの役割の中で、地域の方々とふれあい、共に楽しむ姿があちこちで見られ、一人ひとりの力が十分に発揮され活躍されていた姿が印象的でした。日常とは違う新たな発見もあり、当日まで準備に奔走していた職員も、ご利用者と共に充実感を得た一日となりました。



ねん 4年ぶりの開催



障がいのある方々と地域の方々との出会いの場を創設していくことは、事業所として大きな使命の一つと考えます。イベントは目的ではなく、地域の方々と共に歩む一つのきっかけであり、ここから繋がり続ける仕組みもまた創る必要があります。この度、ご来場ならびにご協力いただきました、皆様方にはこの場をお借りして感謝申し上げます。今後も大地が皆様と繋がられるよう、ご理解・ご協力賜りますようよろしくお願い致します。



ないていしき 内定式

10月7日(土)に令和6年4月1日より職員として採用となる2名の学生の内定式を行いました。理事長より、「お二人(左から2番目と右から2番目)の強みを生かし、成長していただけたら、しっかりと支えていきたい。4月に職員としてお会いできることを楽しみにしています。」と挨拶がありました。



内定者代表からは、「社会人として初めてで不安はありますが、先輩職員のみなさんに教えてもらいながら早く虹の会職員になれるよう精いっぱい頑張りたいと思います。」と挨拶をいただきました。4月より職員として一緒に働くことができることを職員一同楽しみにしています。